「図書館」（仮称）を再設計（リ・デザイン）する

2020年の「図書館」（仮称）リ・デザイン会議とこれから

2021/5/16（日）　第2回「図書館」（仮称）リ・デザイン会議

三浦なつみ（LRG35号特集責任編集）

2020年、コロナ禍。

- 4月　最初の緊急事態宣言
  - 政府は4月7日に埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、大阪府、兵庫県、福岡県の7都府県に緊急事態宣言を発出。4月16日に対象を全国に拡大。
  - 感染拡大地域で2021年1月7日に2回目、4月25日には3回目の緊急事態宣言が発出された。
- 5月　公共図書館の92%が休館（saveMLAK 5/6付調査※1）
  - 休館している図書館数は基礎自治体で1,508館（休館率約92%）、都道府県で45館（休館率96%）となりました。 ※1

※1　https://savemlak.jp/wiki/saveMLAK:プレス/20200507

図書館は必要か？

- はじめての緊急事態宣言、休業要請
- 図書館は「場」としての機能を閉じ、サービスも停止した。

- 来館によらない情報提供（情報へのアクセス）の模索
- 郵送やWEBコンテンツなど非来館サービスの発展
- 感染症そのものや、対策についての情報発信

- saveMLAK「災害への『しなやかな強さ』を持つMLAK機関をつくる」https://savemlak.jp/wiki/CallForResilience
- 図書館休館対策プロジェクト　https://closedlibrarycovid.wixsite.com/website
- 県立長野図書館 “図書館だから” できることを、できるかぎり、みなさまへ。 https://www.knowledge.pref.nagano.lg.jp/now/withcorona/index.html
- カーリル　COVID19:これまでとこれから　https://blog.calil.jp/2020/05/with-covid.html

「 」と（仮称）とリ・デザイン

- *「withコロナ」と言われだした時代において、いまある「図書館」というものを一度、丸括弧をつけて「（仮称）」として、いま一度「リ・デザイン」してはどうか、と。*※2

※2　岡本真,「書こう」－あるいは、なぜ「アマビエ」がキャラクターになったのか異聞,「図書館」（仮称）リ・デザイン Advent Calendar 2020,

https://library-redesign.main.jp/20201219/advent-calendar-2020-19/

リ・デザイン会議のこれまで

2020年

- 4月19日　「withコロナ時代の『図書館』（仮称）」リ・デザイン会議発足
  - 実行委員会はFacebookのプライベートグループにて活動
  - 同年5月19日に、現在の【「図書館」（仮称）リ・デザイン会議実行委員会】に変更
- 5月3・4日　第0回会議をオンライン開催
- 5月17日　WEBサイト公開 https://library-redesign.main.jp/
- 6月14・15日　第0.5回会議をオンライン開催
- 11月3日　第22回図書館総合展_ONLINEにて第1回会議をオンライン開催
  - 3つのセッション、ワークショップ、ラウンドテーブルを実施
- 12月1日～　「図書館」（仮称）リ・デザイン会議 Advent Calendar 2020
  - 2021年1月19日までの50日間、毎日さまざまな方がそれぞれの「図書館」（仮称）について投稿

リ・デザイン会議のこれまで

2021年

- 5月16日　第2回会議をオンライン開催
- 5月24日　LRG 35号 刊行
  特集『「図書館」（仮称）を
  再設計（リ・デザイン）する』

＼予約受付中／

リ・デザイン会議のこれまで

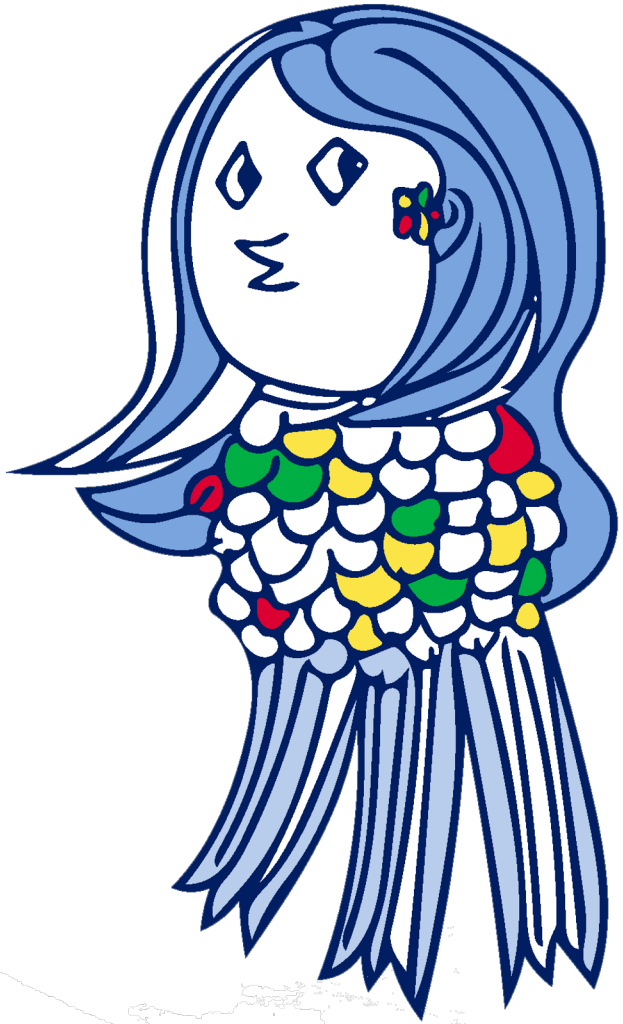
- プロセスを残していく
  - 会議の記録などアーカイブをWEBに残す※3
  - 公開で会議を行う
  - 出版をする
- 自らの（個人の）意思で、誰でも参加することができる
  - 誰もが主体的な参加者であり、運営者である
  - 行動規範※4

※3　https://library-redesign.main.jp/category/archives/

※4　https://library-redesign.main.jp/code-of-conduct/

リ・デザイン会議のこれから

- 図書館法施行から100年、2050年の「図書館」像
- 現在（いま）から、約30年後に向けての再設計（リ・デザイン）

- それぞれの「図書館」（仮称）、それぞれのリ・デザイン

続きは第2部、
そしてLRG35号にて！
ぜひ主体的に
ご参加ください